

薬用作物産地支援 栽培技術研修 北海道会場

研究実施主体: 薬用作物産地支援協議会
受講対象者: 普及指導員、営農指導員、市町村職員、その他薬用作物の産地育成関係者
研修目的: 薬用作物の産地形成・栽培技術指導の確立、産地の生産性向上
研修実施場所: オンライン開催 (Zoom 利用)
実施時期: 10月13日(水)

	時間	研修科目	内容	講師	所属
10月13日 (水)	10:10- 11:10 (60分)	[講義] 薬用作物の実需者ニーズ と国内栽培に向けて	製薬企業の薬用作物調達と漢方薬生産の現状、国内産地化に向けた実需者側の取り組みについて解説する。	小柳 裕和	日本漢方生薬製剤協会 生薬国内生産検討班班長
	11:10- 11:50 (40分)	[講義] 薬用作物の機械除草を 核とした雑草防除体系の 開発 ー北海道におけるカンゾウ 栽培を例としてー	農林水産省委託プロジェクト研究「多収阻害要因の診断法及び対策技術の開発」で得られた、機械除草に除草剤を組み入れた総合的防除体系の成果について紹介する。	根本 英子	農研機構北海道農業研究センター 寒地酪農研究領域 自給飼料生産グループ 上級研究員
		昼休み			
	13:00- 14:20 (80分)	[講義] 薬用作物の栽培技術について	地域の生産者からの要望の高い栽培技術について解説する(カンゾウ、シャクヤク、ハトムギ等)	林 茂樹	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 薬用植物資源研究センター北海道研究リーダー
	14:20- 15:00 (40分)	[講義] 名寄市における薬用植物 栽培振興の取組 ーカノコソウの産地化に ついてー	名寄市における薬用作物生産振興に関する地域・生産者の取り組みを紹介する。	六郎田 直人	名寄市役所経済部農務課 農業振興係 主査
	15:10- 15:40 (30分)	[情報交換会] 各地域の薬用作物産地 形成における課題と対応	事前に受けた受講情報を参考にしながら、講師を交えて情報交換を行う。	講師同席	